

出張医学教育FD (北アルプス医療センターあづみ病院)

【日 時】 令和元年 9月25日(水)

【参加人数】 7名

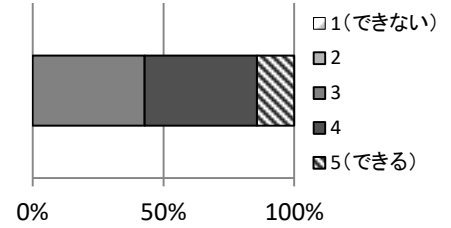
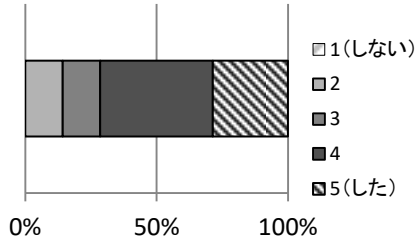
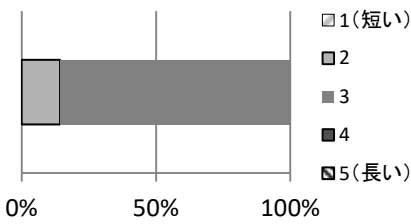
【講 師】 多田 剛

【内 容】 参加臨床実習のすすめ方

FDの開催時間はいかがでしたか。

FDはニーズにマッチしましたか。

学生の評価ができるようになりますか。



参加者の意見

FDでわかったこと	FDで疑問に残ったこと	ご意見
・チーム医療への参加をもっと積極的にしなければならないことが重要であることを理解できました。		
タスクを与える事。評価する事。		
実習の今と昔の差		
以前に比べて求められる実習のレベルが非常に高くなっていることが理解できた。	特になし	求められているレベルの実習を提供するために指導医もレベルアップする必要がある
以前の実習と異なり、臨床の現場に積極的に参加して頂くことができるようになっていくこと。		
最近の評価法 ポートフォリオ、他	学生にどこまで実施させて良いのか？ (採血はさせてもOK？)	
これまでの学生実習と少しイメージが変わりました。内容的には自分達の研修医の頃のように思いました。今後の対応の仕方を改めます。	特にありません	各科に実習に来る方のニーズなどもわかるとやりやすいです。